

生ける水

発行者
日本福音教会連合
岡山市北区丸の内
1丁目11番15号
理事長
倉賀野 攻
編集
太田 正信

目次	
P.1	イエスを仰ぎ見つつ…… 倉賀野 攻
P.1	時の声
P.2	教会巡り③ 聖泉キリスト教会… 三浦清重
P.2~3	いのちの雫…………… 渡辺 隆
P.3~4	「二つの翼で飛び立つ健康な教会」を読んで…………… 金永悦子
P.4	神が私の味方なら…………… 砂川 富子
P.4	報告・案内 etc ……

わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう。ヨハネ7:38

イエスを仰ぎ見つつ

岡山中央基督教会牧師

理事長 倉賀野 攻



皆様方一人一人もこの御言葉に堅く立っていただきたいと思ひます。

私達がイエス様を仰ぎ見ますのは、神様の方でまず私達に、愛のまなざしを注いで見て下さるからです。

神様の愛のまなざしは、イエス・キリスト様のもとにきて、去っていった富める青年をじいっと見送られたイエス・キリスト様の愛のまなざしです。

又、三回イエス様を知らないうといたペテロに向けられた愛のまなざしです。

さらには、何回もイエス様に従わないで、そむいていた私に注がれたイエス・キリスト様の愛のまなざしです。

そういう神様の目、愛のまなざしが、年の始めから、年の終りまでありますので、私達もイエス様を仰ぎ見るのです。イエス・キリスト様から目をそらさないで歩んで行きたいと思ひます。

イエス様を仰ぎ見るといふことは、第一に、私の罪のた

めに十字架におかかり下さったイエス様を仰ぎ見るということです。

エジプトを脱出したイスラエルの民は、荒野で毒へびにかまれた事がありました。多くの人々が死んだのです。

その時、神様から示されたモーセは、青銅でへびの形をつくりそれを竿の上に高くかかげました。すべてへびにかまれた者は、竿の上の青銅のへびを仰ぎ見て生きたのです。(民数記二十一章)

ヨハネによる福音書三章十四節には「ちょうどモーセが荒野でへびを上げたように、人の子(イエス様)も上げられなければならない」と記されていますから、竿に上げられた青銅のへびは、十字架にかけられたイエス様の事を意味していたのです。

荒野で毒へびにかまれた者が、竿の上にあげられた青銅のへびを仰いで生きたように、十字架に上げられたイエス・キリスト様を仰ぐ者は、罪がゆるされ、きよめられ、生き

るのです。永遠の命が与えられるのです。

本来、私達は罪の毒がまわって、永遠の死なのですが、十字架のイエス様を仰ぎ見る者は、毒が消されて生きるのです。永遠の命です。

第二にイエス様を仰ぎ見るということは、天国を思い見る、ということですが。

「あなたがたは、上にあるものを思うべきであって、地上のものに心を引かれてはならない」(コロサイ人への手紙三章二節)

上にあるものは天国のことです。「そこではキリストが、神の右に座しておられるのである」(コロサイ三章一節)

イエス様を仰ぎ見るとは、上にあるもの即ち天国を仰ぎ見ることです。

「わたしたちの国籍は天にある。そこから救い主、主イエス・キリストの来られるのを私たちは待ち望んでいる」(ピリピ人への手紙三章二〇節)

結局、再臨の主イエス様を待ち望むことこそ、「イエスを仰ぎ見る」ということになります。すばらしい恵みです。

「信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ走ろうではないか」(へブル人への手紙十二章二節)

時の声

政治家の選挙公約は、当選せんがためのリップサービス?の様なものであったので、有権者は誰も百パーセント信じる事はなかった。しかし、最近の党から出すマニフェストは、政治家個人の選挙公約とは違って、その政党の国民への党としての約束である。

百パーセント守れ、とは誰も言わない。しかし、もつと責任を持ち、納得の行く説明とビジョンが示されなければ、現政権は倒れるであろう。野党から与党に変わって野党時代の攻撃から防御の立場に立って「有言実行内閣」の言葉は空しく、自民党末期時代よりも醜い現状に国民は失望している。

沖縄の基地問題、特に、普天間基地移転問題は、沖縄県民ではなく、国民を護る政治か?国民に犠牲をしいるだけの政治かの民主主義の試金石となるであろう。

沖縄の基地問題だけではなく、ダム、河川堰その他、真の民主主義政治を問う問題は山積していたし、している。我ら有権者は清き一票によって政治家を替え、政治を代えたい。そして、我ら自身言葉に責任を持ち、責任を取れる者でありたい。

日本福音教会連合 教会巡り⑬ 聖泉キリスト教会の沿革と現代

聖泉キリスト教会
牧師 三浦清重



一九五三年七月下旬、当時飛山玉蔵師が東京・北区十条の駅近くの質屋さん（飛山師の友人宅）の家庭集会で、飛山師が「この集会を今から聖泉集会と呼ぶことにする」と宣言され、それが「聖泉」という名がつけられた所以です。そうして、小さな聖泉集会が建て上げられました。一九五六年夏、その集会は会場の都合で、北区稲付西町の戸根川家、杉原家を転々とし、尾関家の一室を借りて伝道所とし、日曜日は午後二時から礼拝、午後五時から路傍伝道、午後七時から伝道会。また毎木曜日は午後七時から祈禱会を行いました。

（この頃、三浦清重師はまだ神学生でした。）一九五六年十一月末には十五〜十七名程で礼拝をしていました。ところが、教団命令で、岡山の教会でご奉仕することになり、池田勝兄（神学生）に委ね、その後、教会名が城西キリスト教会となりました。その頃堀井美吉兄が日本ホーリーネス

教団の神学校へ……（二〇〇九年、教団牧師引退・召天。一九五九年、聖都教会副牧師との任命を受け、その時から、かつての聖泉集会時代の教名をもって、伝道所を北区王子で再会し、聖泉教会となりました。後に狛江市岩戸にて開拓伝道を始め。諸事情があった一九六一年春、蕨市塚越に移ります。一九六四年春、主の導きにより川口市朝日町に移住し、開拓伝道を開始。一九六五年六月、統合幼児施設「天使園」を開園する。一九七一年、聖泉キリスト教会会堂建築、九月二三日献堂。（延七二坪、三階建・鉄骨・内部木造）。一九七三年三月二七日宗教法人「聖泉キリスト教会」認可を受ける。一九八七年三月二日、天使園を開園。

一九九四年十月、教会墓地（越生市地産霊園）購入。一九九六年四月、三浦愛姉献身。東京聖書神学校へ入学。二〇〇〇年三月、三浦愛姉東京聖書神学校を卒業。四月、日本福音教会連合総会で准充式。聖泉キリスト教会副牧師に就任。二〇〇六年三月、後谷武治兄はJ.T.J神学校・牧師科を卒業。五月、聖泉キリスト教会の伝道師に任命する（教会内に於いて）。二〇〇九年三月、三浦愛師が日本福音教会連合の総会に於いて、正教師の接手を受ける。十一月八日、聖泉キリスト教会主任・担任牧師に就任。三浦清重牧師は、名誉牧師となる。川口という土地柄、外国の方々が多く生活をしていました。一九九五年ナイジェリアの集会が日曜日の午後にもたれ、リーダーの結婚式が行われた時には、会堂に八〇名以上のナイジェリアの兄弟姉妹が集まり、広い会堂の必要性を感じました。また、ブラジル集会やフィリピン集会なども会場を提供していました。外国人の方々との働き場所が減り、集まりが段々と減ってしまいました。しかし、今でも良い交わりを与えられ感謝です。礼拝は、第一聖日には三浦清重牧師がメッセージをし、第二聖日は親子合同礼拝として三浦愛師

がメッセージをします。第三聖日は愛師、第四聖日は後谷武治伝道師、第五聖日は三浦正子師という形で小さな教会ながら、四名の教師により御言葉が開かれております。礼拝後の昼食は、階下に於いて毎週交わりの時をもつていま

なりました。平均的に四〇代半ばという年齢層もあって、交わりの行事をよく持ちます。春には子供達を中心としたハイキング、夏前には壮年会主催の潮干狩り、秋には芋掘りと青年会主催のレクリエーション、2年に1度は婦人会主催のバザー、クリスマス祝会では、各々腕を奮っての愛餐会や子供達と青年会による劇、冬には壮年会主催の餅つき……神様の家族が教会行事を楽しく喜んで参加し、友人を誘い合っています。

二〇〇五年から冊子リビングライフを用いて、礼拝後にA・B・Cグループに分かれて、御言葉の祝福の分かち合いをもっています。また毎礼拝後、御言葉の応答として近くの席の二〜三人のセルグループにより交わりの時をもっています。今現在、教会改修・改築を目指して教会では心一つにして祈っています。



す。以前は、全て正子師が準備をしていましたが、現在は婦人会や青年会と週毎に、奉仕を分担するようになりました。子供達も、良くお手伝いをして、餃子をまくのも、スパゲティを茹でるのも上手に

二〇一一年に与えられた教会の聖句「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」ヨハネ福音書八章十二節

いのちの雫

主にあって喜び

徳山キリスト教会
牧師 渡辺 隆

主にあって喜びなさい。前と同じことをかきますが、これは、私には煩わしいことではなく、あなたがたの安全のためにもなることです。ピリビ三章一節

このみことばは、パウロがピリビの教会に宛てた手紙の一節で、獄中から出され、堀の外では、パウロの敵対者が勢力を伸ばし、だれもみな自分自身のことを求めるだけ（ピリビ二章二一節）と言わざるを得ない現状。更に教会には悪い働きの侵入。内では指導的婦人達の対立。加えて同労者が病に倒れる等の多くの問題の中で、彼は繰り返す「主にあって喜びなさい」と勧め、すべてのことを、つばやかず、疑わずに行（ピリビ二章十四節）うなら、世の光として輝くことができる。人々を励まし、四章しかない手紙なのに十六回も喜びが言われています。この「主にあって喜び」を

「二つの翼で飛び立つ 健康な教会」を読んで

多摩キリスト教会
長老 金 永悦



この「二つの翼で飛び立つ健康な教会」の本の中身には、韓国ペンソングループ教会の復興は二つの翼養育システムを中心とした、多様な教育訓練を通じて実際に、神様から受けた祝福の賜物が載せてあり、その結果は神様からの祝福の賜物として成り立っていることが分かる。

この本にはペンソングループ教会を通じて、著者である金ソンゴン牧師の祈り、周到な研究による事前の緻密な準備と、その効率的な計画によって進行された「二つの翼」システムによって、教会が神様から受けた祝福の賜物も具体的な実例として挙げられた。この二つの翼で飛び立つシステムを神様から授かった祝福の賜物は何よりも聖徒に今

までとは違った価値の変化をもたらし、信仰心を高めたとことである。そのために最も特徴とも言えるセルグループの礼拝や集会を通じた奉仕、伝道活動や養育奉仕活動が一般聖徒全員に組織的に伝わっている。また霊感溢れる礼拝のための積極的礼拝が実践できる雰囲気がこのシステムとともに揃っている。

このペンソングループ教会は世界でもっとも健康な教会であると第三者機関によって評価されているが、このような結果を実現している根幹には大礼拝中心だけではなく少ない人数での小グループによる礼拝を両輪としてシステム化されていることを実際に教会の牧師と聖徒が一体になって実践したことである。

ここでいうシステム化というのは大集会の大礼拝と小グループによる小集会の両輪でありこれが二つの翼を形成されたことになる。特にいつでもどこでも集められる少ない人数での小グループによる小集会、小礼拝はセルグループが次々に誕生しながら常に活発に動いて、「二つの翼で飛び立つ健康な教会」の盤石になっている。

この「二つの翼で飛び立つ健康な教会」におけるセルグループの運営方法を見ると「教育組織論的なシステム」が息づいている事がわかる。このシステムは「積極的聖徒から積極的聖徒へ質を高める教育組織論」的なシステムとも言えるだろう。特に、この本に書いてある組織論的システムは、社会科学的なモチベーション論やリーダーシップ論のように、目的が物質的利益創出のために人を動かす目的の一般経営システムとは違い、簡単に言うと「全聖徒の質の高い献身者化」である。

働く教会生活、聖徒生活」に変わるような組織である。この本に書いてある多くのシステムによる教会組織活動には、一般社会の階級概念よりも、祈りや聖霊の満ちた教会活動を重視する事で、聖徒を自然に重視する事になり、一方的で且つ縦のラインよりも、横的ラインとしての長所を活かしながら、一般信徒を献身者として発掘し、訓練させることである。これが著者の牧会哲学であり、神様に献身する環境を作り、それに順応する聖徒組織を作り上げていくシステムである。

ペンソングループ教会の聖徒は生き生きとした声で主を賛美し、喜ぶ生活を捧げることによって自分遣う生活の中に入って常に伝道し、新しい聖徒を育てることが日常化されるように、システムは体系化されている。この体系化システムを実行することによって、「信仰」教会への素直な服従」という基礎の上で何よりも、神様が最も重要であると強調した「愛の実践」ができる環境作りが可能にする役割を果たす。

新しく教会に入った聖徒に対しては体系的養育を行い、その諸システムに喜びを感じながら、教会の礼拝やその他の事業に「純粹に従い、献身

的な信仰生活を送れる」ように導いている。この本に掲載された事例では、ペンソングループ教会聖徒たちは喜びを感じ、このような純粹に教会に従い献身的な信仰生活を送れる聖徒の信仰が、ペンソングループ教会において盤石になっていることが分かる。つまり、神様から教会はじめ聖徒自身や家庭、仕事場が祝福されて行く模様がこの本から見えてくるのである。世から区別され神様の組織特に霊感溢れる礼拝の為ならば今までの固定観念からの脱皮、価値の変化に躊躇なく果敢に取り組める実行力は、強い信仰と聖徒間の信頼と愛によって、神様から能力として与えられるだろう。

ペンソングループ教会は何といつても「夢を見てください。地の果てまで行き、福音を伝える強力な弟子を夢見て下さい。」という担任牧師に対して純粹に従う聖徒全員が一心同体で祈り、語りながら同じ方向を向いているので、強い力が発揮され、前進できる。

結論的に、純粹に教会に従い献身的な信仰生活を送れる聖徒が多くいられるように、信仰による時間、物質、奉仕など献身的に働く聖徒が、教会組織を支えるようにすることにより、このシステムは目

黙そうしました。結論から言うと、それは、主と結び合わされて親密な関係に入れられたこと、また、そのような関係に導いて下さった主ご自身を喜ぶことです。そして主と私達の結合は花婿が花嫁を喜ぶように(イザヤ六二章五節)主は私達の存在を喜んで下さり、溢れる程の感情を表現して下さい(参照エレミヤ三一章二〇節等)主の私に対する思いの総計は、数えようとしても、それは砂よりも数多いのです(詩篇一三九篇一八節)。更に主との結合は永遠です(ピリピ三章二〇節)。そして、私の名が、なんと天に書きしるされて(ルカ十章二十節)おり、感謝です。さて、主にあつて喜ぶことは、ソフトに勧められているのではなく、王の王である方が命じておられ、たとえ喜べない時でも信仰によって従順に行う行為で、気分や感情でなく喜ぶように、主にあつてさせていただき感謝し喜んでいきます。第一テサロニケ五章十六節。正直に、今は喜ばない状況ですが、いやいやながらでなく、主にあつて喜んでいくことに心から感謝しています。

的が達成できる。

「教会の復興は聖徒の信仰生活」によって、神様から祝福の賜物として与えられる事をこの本から見る事ができる。つまり家庭、職場の生活に喜びと希望を与えていく為の教会の役割やシステムまで、宣教指針的であるような内容としてこの「二つの翼で飛び立つ健康な教会」は、宣教現場で指針書の役割も果たしていく事でしょう。

神が私の味方なら

茶屋町復活教会

信徒 砂川 富子



私が、茶屋町復活教会の初代牧師の栗田三三先生から、洗礼を受けて頂きましたのは昭和二十三年でした。信仰が今日まで続けられましたのは、私の努力などではなく、全て神様の恵みでありました。まだ神様を信じていない時から、神様は私の味方になって下さいました。

最後に

「二つの翼で飛び立つ健康な教会」を読んで読後感を作成している内にも、この本を讀むとき以上に多くの恵みを受けることができましたことを神様に感謝します。この本や関連したカンファレンス、オープンセールなどの影響は必ず我々神様を信じる聖徒の信仰を着実に変えていくことでしょう。

以上

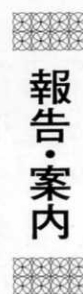
主人と結婚して、二人の子を授かり生活をしていました。けれども、昭和十八年夫が召集され、二十一年に戦死致しました。大変悲しく、また途方にくれました。戦後しばらくは、家族の為にほん菓子を作り販売して生活の糧としましたが、すぐに材料も手に入らないようになり二人の子の養育の為に、職を求めましたがなかなか決まりませんでした。前に勤務した経験のある、M社を訪問して頼みましたが、子供はまだ小さいから無理でしょうと断られました。困っておりまし

た時、中川さん(M社の社長さんの親戚の方)が尋ねてきて就職はできたかと聞いて下さいました。事情を話すと、私がもう一度頼んで上げようと言って下さり、M社に採用して頂きました。神様が中川さんを通して助けて下さったのです。二十六年仕事ができ安心して子育てが出来て感謝でした。

茶屋町復活教会に行くきっかけは、私の信仰の姉と慕う平茂野姉の家で開かれていた栗田三三先生の家庭集会でした。まもなく教会に出席するようになり、教会生活は六十二年が過ぎました。七年前に、息子家族と岡山に引越しました。それでも茶屋町復活教会で信仰を守りたいと願いました。家を八時に出て自転車バス停に行き、バスがJR岡山駅に着いたら乗り換えて茶屋町駅で下車十時の礼拝に間に合いました。四年間そのようにしていましたが、遠くの教会出席を家族が心配しました。神様にどうしましょうとお祈り致しました。久子先生や俣野姉妹にも相談させて頂きました。三年前に、久子先生が、近くのケアハウスの申込み書を渡して下さいました。家族も認めてくれて入所しました。バスに

乗って十分ぐらゐの場所でした。最近では教会の方々が、自動車で送迎して下さい、安心して信仰生活を守らして頂いております。不思議なほどの神様の恵みに感謝しております。

報告・案内



◆熊毛キリスト教会(石井敬子牧師)では、11月21日(日)の礼拝に、阿部俊昭先生(鴻南福音教会牧師)をお迎えしました。
*12月7日(火)午後七時から森繁昇氏を迎えてクリスマスマスゴスペルコンサートを開催されました。

*12月19日(日)午後2時30分からのクリスマス礼拝に、藤村治先生(下松めぐみ教会牧師)をお迎えしました。聖泉キリスト教会(三浦愛牧師)では、11月28日(日)の礼拝時に、柴崎美江姉、浜野歩姉の洗礼式が行われました。おめでとうございます。

(日)の礼拝時に、下野美樹姉、片山優喜兄の洗礼式が行われました。おめでとうございます。
◆米子キリスト教会(倉賀野攻牧師兼牧)の石本はな姉(93歳)は1月7日(金)愛する主の御元に召されました。ご遺族の上に主の慰めをお祈り致します。

◆富士見望キリスト教会(鶴沼芳道牧師)では、地域の所替戸育成会(子供会)12月12日(日)、マナデー1サーピス12月18日(土)、23日(木)、一羊館(老人保険施設)のクリスマス会でクリスマスメッセージのご用をされました。
◆岡山中央基督教会(倉賀野攻牧師)では、12月19日

◆関東地区協議会の総会が、1月10日(月)聖泉キリスト教会で行われました。
◆中四国地区協議会の総会が、1月18日(火)岡山中央基督教会で行われました。
◆日本福音教会連合理事会が2月14日(月)午後5時~15日(火)午後5時まで、岡山中央基督教会で行われます。お祈り下さい。

日本福音教会連合 第40回総会及び牧師研修会

会場 総会 コンフォートホテル岡山
牧師研修会 岡山中央基督教会
研修会主題 「イエスを仰ぎ見つつ」

3月7日(月)	3月8日(火)	3月9日(水)
※総会内容 前年度事業報告 々 会計報告 本年度事業計画 々 会計予算 役員改選など 重要案件審議	6:30~ 7:30 早天祈祷会 (岡山中央基督教会)	6:30~ 7:30 早天祈祷会 奨励、太田正信師
12:00~14:30 理 事 会	9:00~12:00 総 会	9:00~11:00 研 修 III 司会、稲田敏朗師 講演、加藤信治師
15:00~17:00 総 会	12:00~13:00 昼 食	11:15~12:00 閉会礼拝 司会、朴 永佑師 説教、倉賀野攻師
17:00~19:00 夕食・自由時間	15:00~17:00 研 修 I 司会、戸叶 誠師 講演、阿部俊昭師	12:00~昼食 ※昼食後、解散 ※研修I~III の講演後4 グループに分かれて研 鑽
19:00~20:30 総 会	17:00~19:00 夕食・自由時間	
	19:00~21:00 研 修 II 司会、鶴沼君子師 講演、三浦正子師	